



白老町商工会

白老町大町2丁目3番4号

TEL 82-2775

FAX 82-5318

<http://www.shiraoi-shokokai.jp/>

E-mail shiraoi@rose.ocn.ne.jp

No.127 2006. 3. 31

目次:

| | |
|------------------------|---|
| 総代選挙があります! | 1 |
| 商工会の主な動き | 1 |
| 新会員紹介 | 1 |
| 短期チャレンジ ショップ実施結果 | 2 |
| 白老町商工会青年部 創立40周年記念事 | 2 |
| さーびす業部会 視察研修報告 | 2 |

■総代選挙があります!

平成18年度は3年間の任期満了に伴う総代選挙がある年です。総代会は、会員数が200人をこえる商工会が総会に代えて設けることができるもので、定款で定められた総代定数は、125人で、地区ごとの定数は表のとおりです。

総代の任期は、平成18年5月7日から平成21年5月6日までの3年間です。総代は、毎年5月に開催される通常総代会において、商工会の事業計画や収支予算を決定することや、商工会の役員選出など重要な役割があります。

注1 この石山地区とは、ウヨロ川の左岸の地域です。

注2 本町、末広町、若草町、栄町、緑丘、川沿、緑町、陣屋町、字白老及び森野の地域です。

注3 この石山地区とは、ウヨロ川の右岸の地域です。

| 地 区 | 総代の定数 |
|------------|-------|
| 社台 | 5人 |
| 東町・日の出町 | 12人 |
| 大町 | 22人 |
| 高砂町・石山(注1) | 10人 |
| 鉄北地区(注2) | 17人 |
| 萩野・石山(注3) | 20人 |
| 北吉原 | 16人 |
| 竹浦 | 12人 |
| 虎杖浜 | 11人 |

■新会員紹介

白老町川沿2-7-4-2
後藤工業 後藤 修さん

<お知らせ>

白老町の雇用促進住宅が4割程度空室となっております。

入居ご希望の方は下記までご連絡ください。

●雇用・能力開発機構
札幌市所
Tel011-709-0894

<<総代選挙までの予定>>

- 4月 4日 会員あて総代選挙の通知発送
- 7日 各地区選挙管理人及び選挙管理人委嘱
- 13日 総代選挙の期日、投票の開始時刻及び締切時刻並びに投票箱の設置場所の公示
- 総代立候補・推薦届出の受付(～14日)
- 14日 地区別被選挙人名簿の作成
- 18日まで 投票を行う地区の会員あて被選挙人名簿及び投票場所、投票時刻の通知(投票用紙作成場所・投票箱の準備、選挙管理人・選挙立会人あて通知)
- 25日 投票日(9時から17時)選挙管理委員長より選挙結果の報告(地区別)総代選挙録添付
- 27日 総代当選通知及び総代就任諾否(5月2日まで回答)
- 5月 8日 総代名簿の作成

■商工会の主な動き

- | | | | |
|-------|--------------------|------|-----------------------------------|
| 1. 24 | 商工会期中監査 | 24 | 女性部親睦交流会 |
| 31 | 白老監査委員監査 | 25 | 青年部創立40周年記念事業 (シラオイロボットサッカー大会) |
| 2. 1 | 商業部会情報交換会 要望書提出 | 26 | ～26 |
| | 東胆振経済団体懇談会 | 27 | 工業部会情報交換会 |
| 13 | 経営講習会 | 3. 2 | 建設部会情報交換会 |
| 22 | 港まつり企画委員会 | 7 | 第7回理事会 |
| 23 | さーびす業部会情報交換会 | 22 | 労務講習会 |

<会報編集委員会>

委員長 戸田安彦
副委員長 増田 博
委員 相吉崇史
久保照美

■短期チャレンジショップ実施結果

空き店舗対策協議会が、空き店舗対策事業の一環として実施いたしました短期チャレンジショップの結果についてお知らせいたします。

- 目的 ①商店街の賑わい復活②新規創業者の創出
③地産地消の推進
- 場所 旧 おか田時計めがね店
- 期間 平成17年10月3日から12月25日
- 販売品目 地場生産品のみ(虎杖浜たらこ12社、白老牛ハンバーグ3社、しいたけ2社、陶芸品1社、卵1社、干物魚1社、手芸品1社)
- 売上目標 月100万円(経営する最低ライン)
- 売上実績 約316万円

今回は、協議会自体が店舗を運営する方法を学ぶ目的で行ったことから、協議会として独自の実験を行いいくつかの教訓を得ました。

- ①安売りもせず、地場商品だけで品揃えも少なかったのですが、売上目標は達成しました。
- ②消費者団体等から要望が多かった日曜営業の来店者は、極端に少ない結果となりました。

※商店街に対する「値段が高い」「品揃えが不足」「日曜日に営業すべき」という消費者ニーズ?に振り回されること無く、品質・鮮度の良い地場商品を適正な価格で自信をもっと売ることが大切であり、「こだわり」を持った店を増やすことにより「個性ある商店街」として存続できるのではないのでしょうか。

18年度は、今年反省を踏まえ長期的なチャレンジショップを開催予定です。

苦言・提言をいただきながら、商店街再生に取り組みたいと考えています。

■白老町商工会青年部創立40周年記念事業開催

本年度、当商工会青年部は創立40周年を向かえました。その記念事業を行うにあたり何をすべきかを考え、この町の未来を担う子供達へのイベントを企画し、夏と冬の2回にわたり開催いたしました。

イベントの内容は、教育用レゴマインドストーム「ROBOLAB」というロボット教材を使用し、レゴブロックで作成したロボットにコンピュータからプログラムを入力して完全に自立したロボットを作るというもので、思ったような動きをするロボットにするために形やプログラムを改良していくため、楽しみながら問題解決能力を養うことができるのが特徴です。

このような教育プログラムの実施は大都市では盛んなのですが、小さな町ではなかなか触れることができず。そこで、白老町でもこのような機会を子供達に提供したいと考えました。

夏はロボットに触れる「体験会」として5日間、冬は作ったロボットによる「サッカー大会」を2日間開催しました。集まった小学生は、初めて目にするロボット作りに一生懸命取り組み、サッカー大会では歓声を上げながら白熱した戦いを繰り広げ、青年部創立40周年記念として、充実した事業となりました。



「夏休み体験会」でロボット作りに熱心に取り組む子供達(左)



2月に開催された「サッカー大会」(右)

■さーびす業部会視察研修報告

今回のさーびす業部会視察研修については、2日間(平成17年10月12日～13日)で帯広市、中札内村、音更町を視察先に、観光振興をメインに、空き地・空き店舗を利用した飲食店街、牧場を利用した観光、温泉を利用した観光を研修するものであります。

主に観光がメインでありましたが、それぞれの視察先において、それぞれの分野(団体・組織等)がよければ良いということではなく、地域に対する思いや、組織同士の連携を意識した地域振興に自らがやらなければならないことや、出来ることをやっていくという思いを感じ取る事ができました。

その地域への思いは、職種関係なく、大変参考になったことと思います。

また、十勝川温泉観光協会では、商工、観光、農業と団体が連携することについて、従来は何処の町でも別に考えられていたし、別々だった。そこには深い根のわだかまりのようなものもありました。しかし、本当にこれを克服し、連携していかなくては、地域のPRは出来ないのでは?というお話に、当町においても例外ではないことと、その重要さを再認識いたしました。また、この研修を通じ、会員の親睦も図れたことから、大変貴重な研修会でありました。